

Codec コーデックストレージ

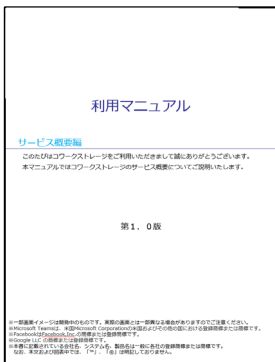
利用マニュアル

操作編（一般ユーザ） [Teams連携]

このたびはコーデックストレージをご利用いただきまして誠にありがとうございます。
本書ではTeamsアプリとの連携方法を説明します。

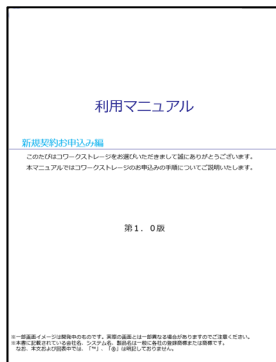
第6. 0版

①：サービス概要



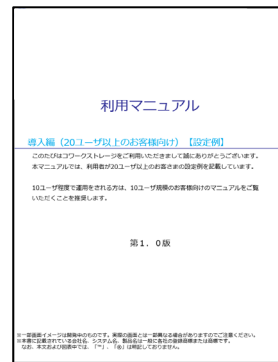
本サービスのサービスの概要や特長を説明

②：新規契約お申込み編



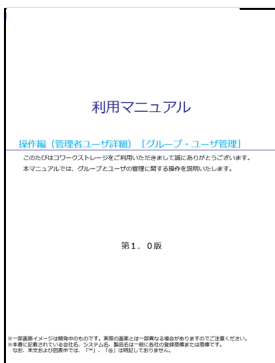
本サービスの新規お申込み方法を説明

③：導入編【設定例】



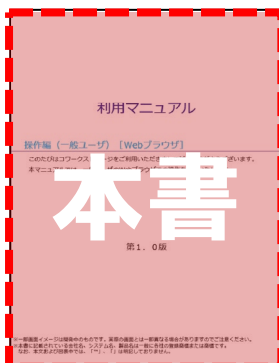
本サービスの初期設定を設定例から説明

④：操作編 (管理者ユーザ詳細)



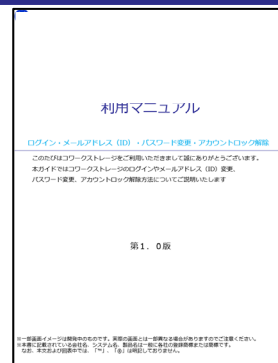
管理者権限を持つ利用者様向けの操作説明

⑤：操作編 (一般ユーザ詳細)



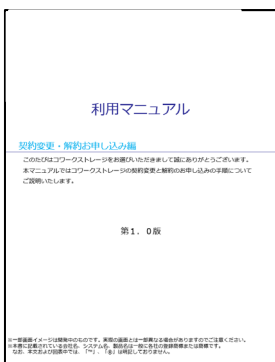
ユーザ向けの操作説明

⑥：ログイン・メールアドレス、パスワード変更、アカウントロック解除編



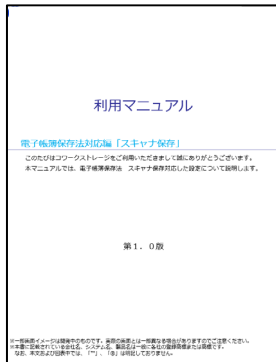
本サービスへのログイン、メールアドレス・パスワード変更、アカウントロック解除の操作説明

⑦：契約変更・解約申込編



ご契約情報確認方法や変更について説明

⑧：電子帳簿保存法対応編



電子帳簿保存法に対応するための設定・操作方法を説明

版	年月	改訂内容	改訂箇所
1.0版	2021年4月	初版作成	
1.1版	2021年4月	Teamsデスクトップアプリで利用可能となったため、注釈の内容を変更しました。	1
3.0版	2021年9月	Teams連携機能が回線認証・SNS認証に未対応であることを追記しました。	1
6.0版	2022年11月	「利用マニュアルについて」に「⑧：電子帳簿保存法対応編」を追記しました。	-
		ログインの方法追加に伴い、記載を更新しました。	1

<u>1. Teams連携アプリのダウンロード</u>	<u>..... 4</u>
<u>2. テナントIDの登録</u>	<u>..... 6</u>
<u>3. Teams連携アプリをアップロード</u>	<u>..... 8</u>
<u>4. Teams連携アプリの利用開始</u>	<u>.....10</u>

! 事前に

Teams連携アプリをご利用いただくには、別途Microsoft Teamsの契約が必要です。

本書は、すでにTeamsをご利用いただいている方向けに作成しております。本アプリは、TeamsのWebブラウザ版とTeamsデスクトップアプリに対応しています。

モバイル端末からの利用、回線認証、他サービス認証、Active Directory認証には未対応です。

※インターネット経由でパソコンからアクセスしてください。

また、Teams連携アプリは社内ユーザ専用のアプリケーションです。

! 本マニュアルについて

P.4～P.9の手順は、本サービスの「管理者権限」を保有する方及びMicrosoft365の管理者権限を保有する方が実施してください。

以下の手順でTeams連携アプリ(Zipファイル) をダウンロードしてください。

1. 本サービスのWebにログインします。
2. 【ツール】 - 【管理コンソール】 をクリックします。



3. 【編集を開始する】 をクリックし、閲覧モードから編集モードへ変更します。

現在、閲覧モードです。設定の変更や編集を行いたい場合は、編集を有効にしてください。

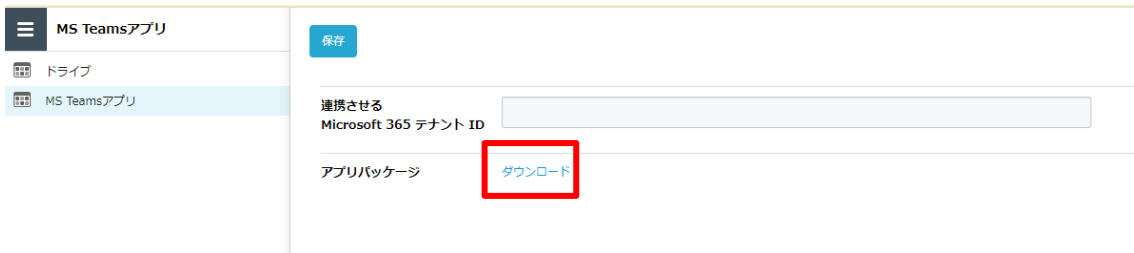
[編集を開始する](#)

1 Teams連携アプリをダウンロード

4. 【アプリケーション】を選択します。



5. MS Teamsアプリを選択し、【ダウンロード】を選択します。



※保存先は、お好きな場所を指定してください。

※Zipファイルを解凍する必要はありません。

1. Teamsを起動し、任意のチーム横の「...」をクリックし、【チームのリンクを取得】をクリックします。



2. リンクが表示されますので、コピーをクリックします

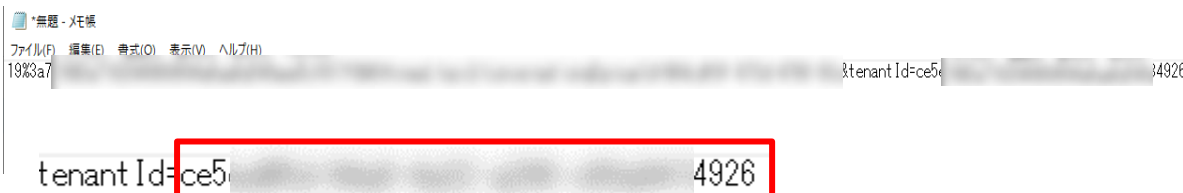
チームへのリンクを取得

[https://teams.microsoft.com/l/team/19%3a7192040668694a6aa6a549aee5cf617f%](https://teams.microsoft.com/l/team/19%3a7192040668694a6aa6a549aee5cf617f%401234567890abcdefg?tenantId=ce54926)

キャンセル

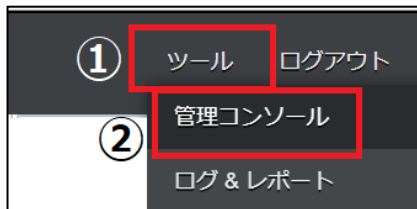
コピー

3. メモ帳等のテキストエディタを開き、コピーしたリンクを貼り付けます。貼り付けたリンクの「tenantId=」より後ろの文字列をコピーします。



※このIDはあくまでイメージです。

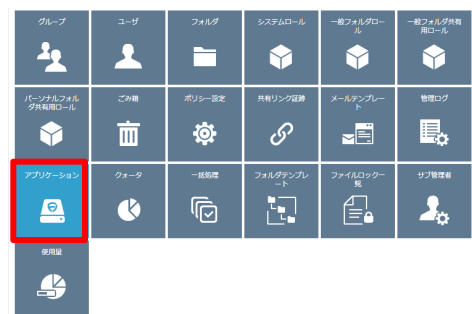
5. 本サービスのWebにログインします。
6. **【ツール】** - **【管理コンソール】** をクリックします。



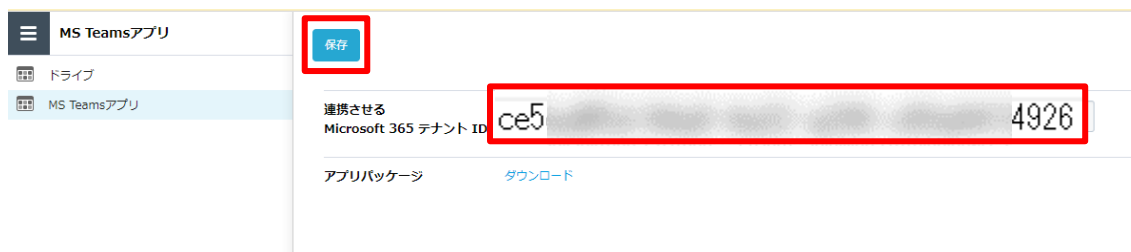
7. **【編集を開始する】** をクリックし、閲覧モードから編集モードへ変更します。



8. **【アプリケーション】** を選択します。



9. MS Teamsアプリを選択し、先ほどコピーしたテナントIDを貼り付け**【保存】** します。



3 Teams連携アプリをアップロード

ダウンロードしたTeams連携アプリをお使いのTeamsにアップロードしていただきます。

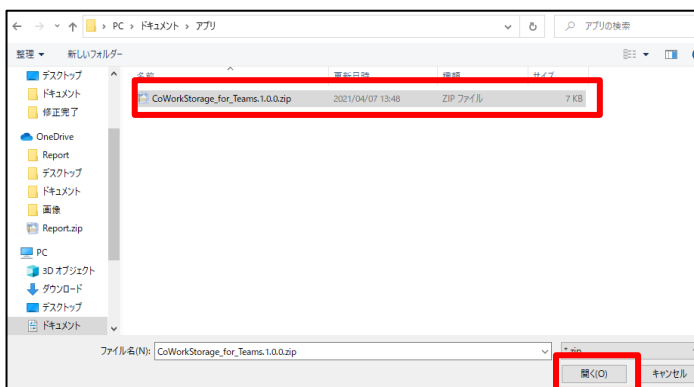
1. Teamsを起動します。
2. 左のタブから【アプリ】を選択します。
アプリから【カスタムアプリをアップロード】を選択します。



！ここに注意

【カスタムアプリをアップロード】が表示されない場合は、Teamsの管理者にお問い合わせください。管理者の方は下記URLを参考にカスタムアプリのアクセスを許可してください。
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/teams-app-permission-policies>

3. ファイルを選択する画面が起動するので、取得したTeams連携アプリのZipファイルを選択し、【開く】をクリックしてください。



4. アップロードが完了し、Teamsの【アプリ】から本サービスのTeams連携アプリが表示されていることを確認してください。

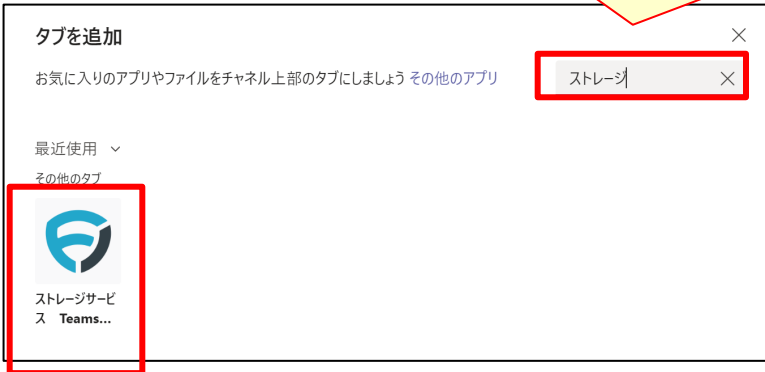


1. Teams連携アプリを追加したいチームもしくはチャットに移動し、タブに追加します。
※Teams連携アプリを追加したいチームもしくはチャットが複数ある場合はチームもしくはチャットごとに同様に追加する必要があります。



2. ストレージサービスを選択します。

表示されない場合は
ストレージと入力して検索してください



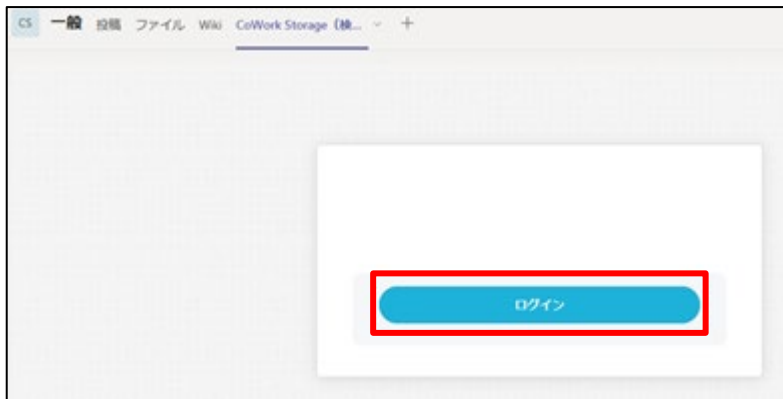
3. 【追加】をクリックします。



4. 【保存】をクリックします。



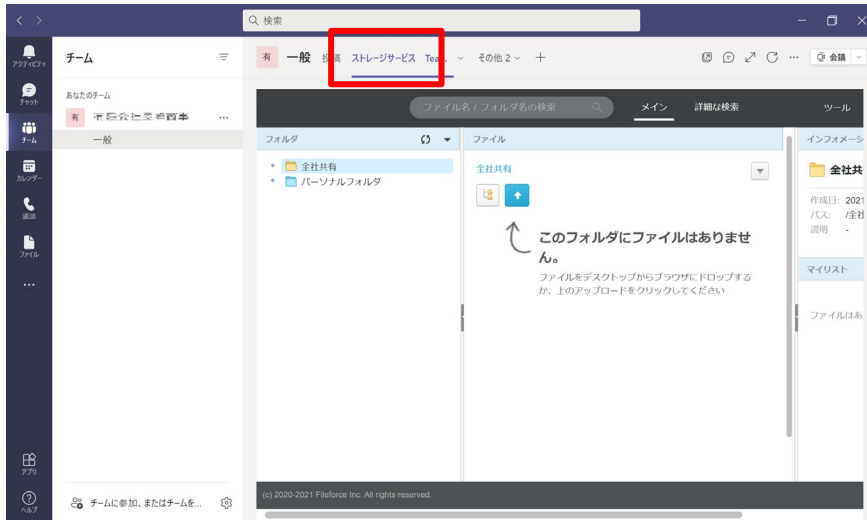
5. 【ログイン】をクリックします。



6. ログイン画面が表示されるので、ログインを実施します。



7. ストレージサービスのタブからWebUIが表示されます。



! ここに注意

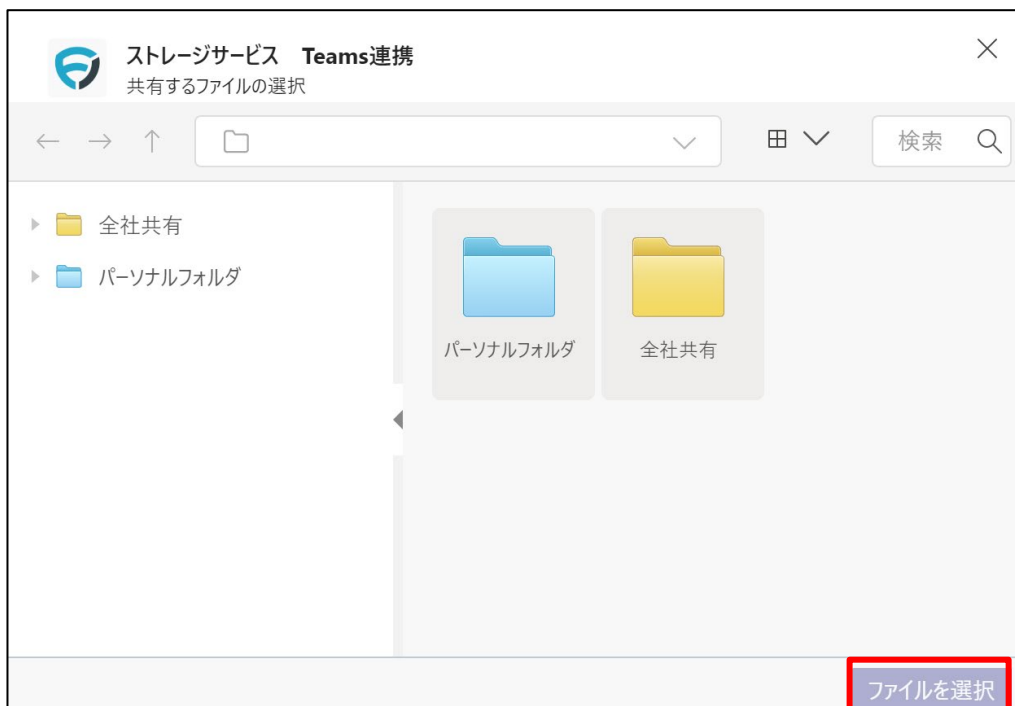
操作方法は通常のWebUIと同じです。

8. チームまたはチャット上でファイルを共有する場合は、メッセージエクステンションからもご利用ください。ストレージサービスのロゴが表示されていますので、クリックします。

新しい会話を開始します。@ を入力して、誰かにメンションしてください。



9. ファイルの選択画面が表示されるので、共有するファイルを選択します。



10. チームもしくはチャット上にファイルを貼り付けることができます。



【Driveで開く】 : ストレージサービスDrive上で、対象ファイルを起動します。
【ブラウザで開く】 : ブラウザ上で、対象ファイルを表示します。

! ここに注意

投稿されたファイルカード上の【Driveで開く】をクリックした場合、拡張子によっては関連付けられたPCアプリケーションではなくフォルダが開くことがあります。

<関連付けられたPCアプリケーションが開く拡張子>

Office系

.mdb .accdb .accdt
.xlsx .xltx .xlsm .xltm .xlm .xlsb .xls .xlc .xlw .xlk .xlt
.docx .docm .dotx .dotm .doc .dot
.pptx .pptm .ppsx .potm .potx .ppt .pps .pot
.txt .rtf

圧縮アーカイブ系

.zip .rar .7z .tar .gz

メディア

.aac .aif .aiff .au .flac .mp3 .ogg .wav .wma .ape .ac3 .m4a
.avi .m2ts .mkv .mov .mp4 .mpeg .mpg .webm .wmv .vob .m4v .ts .m2t .mts .h263
.h264

グラフィック文書系

.cdr .ai .pdf .cad .psd

画像系

.bmp .gif .jpg .jpeg .png .tif .tiff .tga .jp2 .j2k

<フォルダが開く拡張子>

上記以外の拡張子

※【Driveで開く】はPCからのみご利用いただけます。ストレージサービスDriveをインストールされていないモバイル端末では動作いたしません。